

学生ボランティア研修資料

放課後事業(トワイライト)について



1 事業について

名古屋市では、学校施設を活用して、子どもたちに放課後の多様な体験や活動の場を提供するトワイライトスクール・トワイライトルームを実施しています。

トワイライトスクールは、異学年の子どもたちが、友達との自由な遊びや学習、体験活動や地域の人々との交流を通して、自主性・社会性・創造性などを育むことを目的としています。また、トワイライトルームは、トワイライトスクールの教育的役割に加え、昼間保護者がいない家庭の子どもが安心やくつろぎを感じて過ごすことができるよう、子育て支援としての役割を併せもつものです。

2 運営について

本事業は、名古屋子ども青少年局放課後事業推進室が主管となり、委託事業として、市内の小学校施設を活用して実施されています。

公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会は、運営主体として名古屋市から委託し、トワイライトスクール・トワイライトルームを運営しています。

3 目指すもの

運営方針

1 子どもたちの笑顔あふれるトワイライト

- 温かいサポート体制
- 楽しめる連携講座の提供
- 学習習慣づくり
- 基本的な生活習慣づくり

基本理念

ふれあいと
笑顔あふれる
放課後の実現

運営方針

2 地域の方々が生きがいを感じるトワイライト

- 行事への積極的な参加
- 四季や文化を大切にしたい講座の実施
- 地域の人々とともに地域活動

運営方針

3 学校・家庭・地域との絆を深めるトワイライト

- 学校との密接な連携
- 保護者の声を大切にした運営の実施
- 地域の方々の思いを大切にした運営の実施



4つの活動の場について

1 児童の主な活動のねらいと学生ボランティアのかかわり

トワイライトでは、次の4つの活動を核にしたプログラムを工夫し、生活リズムの定着や自主性・社会性・創造性などを育むようにしています。

活動のねらいをよく理解して、学生ボランティアとしての活動に取り組みましょう。

活動の場	活動のねらい	学生ボランティアのかかわり
	<p>異学年の子どもたちが仲良く遊び、自主的・自発的・創造的な活動をうながし、約束事の順守や、グループ活動の促進を図ります。</p>	<p>運動ゲームや伝承遊び等、いろいろな遊びの達人となって、子どもたちと一緒に遊んだり声掛けをしたりして、仲良く活動できるようにします。</p>  <p>楽しくポッチャ</p>
	<p>学習タイムや英語遊び、学びの講座などによる知的体験を重視し、学びの楽しさを味わい、学ぶ力を身に付けます。</p>	<p>30分程度の学習タイムで子どもたちの支援を行います。クイズやゲームで漢字や計算への意欲を持たせるなど、学びの楽しさを味わわせることを通して、学ぶ力が身につくようにします。</p>  <p>英語の講座</p>
	<p>地域のボランティアなどによる、自然体験、スポーツ体験、文化体験などを行い、興味・関心を引き出し、将来に生きて働く体験の場とします。</p>  <p>バルーン講座</p>	<p>事業ボランティアの補助をしたり、一緒に活動したりします。学生自身の特技があれば、それを生かして講師となり、指導・助言をすることもできます。</p> <p>《実施している体験活動の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 茶道、手芸、読み聞かせなどの文化体験 ● 将棋、囲碁、こまやけん玉などの伝承遊び ● グラウンドゴルフやターゲットポッチャなどのスポーツ活動 ● 和太鼓、琴、歌や楽器演奏などの音楽活動 <p>※それぞれのトワイライトでいろいろな活動があります。詳しいことは専門員に尋ねましょう。</p> 
	<p>地域の環境美化活動、盆踊り、福祉活動など、特色ある地域行事や交流事業などへ参加し、子どもたちと地域の方との交流をうながします。</p>	<p>地域の特色ある活動について、スタッフや事業ボランティアの補助をしたり、学生自身も地域の方々と積極的にかかわったりします。</p>  <p>地域の美化活動に参加</p>

2 活動に当たっての留意事項

- 専門員の話をよく聞き、活動のねらい、方法、注意すべき点を理解した上で活動を進めましょう。また、専門員やAPさんにも積極的に相談し、アドバイスを受けましょう。
- 子どもの発達段階を考慮し、興味をもって楽しく活動できるよう、工夫と準備をしましょう。
- 若い感性を生かして、教室の授業とは違った楽しく、魅力ある活動をつくりましょう。

学生ボランティアとして活動するに当たって

1 スタッフの一員としての自覚をもって



トワイライトでは、チームワークが大切です。スタッフの一員として溶け込むように心がけましょう。

- 来たときや帰るときに元気よく挨拶をしましょう。
- 身だしなみは、華美にならず活動しやすい服装で、髪やつめは清潔に保ちましょう。
- 親しみと温かみが感じられる美しく正しい言葉遣いをしましょう。
- 専門員の方針をよく理解し、APさんと協力しましょう。

2 活動に当たっての心構え

活動に当たっては、子どもの放課後の生活をより良いものにするため、守らなければならないことがあります。自分の行動が大きな影響を及ぼすことを自覚し、自分自身を厳しく見つめ直しながら活動を進めます。特に、以下のような心構えが欠かせません。



- ◆「子どもの権利（肖像権や人権など）」を侵害しない。
- ◆子どもに対して、身体的・精神的暴力や体罰による指導は絶対に行わない。
- ◆一人ひとり温かく見守り、「いじめ」や「虐待」等の防止に努める。
- ◆活動中に知り得た子ども・保護者等の「個人情報」を他に漏らさない。
- ◆トワイライトの活動の様子を、SNS等にあげることがはしない。
- ◆トワイライトの活動外で、子どもと会ったり携帯電話で連絡を取ったりしない。

具体的に考えてみましょう!!

① 子どもたちの安全ときまりの順守について考えましょう。

Q 以下のことで良いと思うものを選び、() に○をつけてみましょう。

- () 危険な遊びや行ってはいけないところに行くのは、スリルがあって楽しいのでよい。
- () 一緒に遊びながらも、遊びによって危険な事態が起こらないか、予測して配慮する。
- () トワイライトのきまりは、多少のことは守らなくてもよい。
- () 遊びに入れない子は、見守るだけでよい。



- 危険な場所や行ってはいけないところなど、専門員の指示やトワイライトの約束を守らせます。
- 一緒に遊びながらも、遊びの内容や危険性についての配慮を怠らないようにします。

• 後片付けやごみの始末など子どもに手本を示しながらきちんとできるように指導します。



• 遊びの邪魔をする子、いじめる子、遊びの仲間に入れない子、乱暴な子などへ適切な指導をします。



- 子どもの安全は、第一に守らなければなりません。子どもの行動によりどのような危険な事態が起こりえるかを予測し、十分な配慮をして安全に活動できるようにします。
- 事故発生の際には、速やかに専門員（または期間専門員）に連絡し、素早く対処を行います。

② 子どものかかわり方や守秘義務について考えてみましょう。

Q 子どもたちへの言葉や行動で、適切でないものに×をつけてみましょう。

<p>〇〇ちゃんは、ドッチビーは上手だけど、縄跳びは少しも跳べないんだ。</p>  <input type="checkbox"/>	<p>〇〇ちゃんがおもしろいしたので、ほかの子にみつからないように下着を替えてやったのよ。</p>  <input type="checkbox"/>	<p>子どもたちとドッチビーをして遊んだの。みんな元気で、私も楽しかったな。</p>  <input type="checkbox"/>	<p>ほんとにすてきな子どもたちだなあ。この場面を写真に撮って、インスタにあげよう。</p>  <input type="checkbox"/>	<p>〇〇ちゃんはおもしろいね。今度の日曜日、私の家に来ない？</p>  <input type="checkbox"/>
---	--	---	--	--

- 活動中に知り得た子ども・保護者等の「個人情報」を他に漏らしてはいけません。また、子どもの様子をSNS等にあげると、大多数の人々に個人情報をさらすことになります。
- 不用意な言葉や行動で、子どもの気持ちを傷つけることのないようにします。

子ども理解について



トワイライトには、それぞれ違った環境で生活している子どもや障害等により配慮を要する子どもなど、さまざまな子どもが互いにふれ合いながら過ごしています。子どもは未熟な面もありますが、一人の人間としてかけがえのない存在です。子どもをよりよく理解し、十分配慮しながらかかわることが大切です。

1 子どもにかかわる姿勢を大切に

- ・一人の人間として尊重する姿勢を大切に。
- ・言葉や態度、表情より、「気持ちに反応すること」ができるように。
- ・言葉にならない思いを「聴く」ことができるように。
- ・見るだけでなく、見守る心構えを。

今日はうれしそうね。何かいいことあったのかな？



2 配慮を要する子どもへのかかわり方

① 大切にしたいこと

- ア トワイライトでは、スタッフの共通理解が大切である。個人で判断しないで、専門員とよく相談して対応する。
- イ 保護者との連携が大切である。不用意な発言により保護者の誤解を招くことがないよう、十分注意する。

② 子どもへの具体的な対応

- ア 信頼できる関係づくりに努める。
- イ 安全で穏やかな環境づくりをする。
- ウ ルールや指示は一つずつはっきりとする。
- エ 次の行動が分かるように、予定は明確に示す。
- オ 集団行動をするときは、個別の声かけをする。
- カ あわてず、急がず、ゆったりと待つ。

一人ひとりに気を配って。

